



A5判  
96頁  
1500円＋税  
ISBN978-4-7877-1332-2

## 奈良大和高原の縄文文化・大川遺跡

遺跡を学ぶ 092

松田真一／著

### 【目次】

#### 第1章 縄文人の足跡をたどって

- 1 大和高原の縄文遺跡
- 2 大川遺跡の発見
- 3 注目される西の縄文文化

#### 第2章 草創期にさかのぼる遺跡の発見

- 1 水没する遺跡をさぐる
- 2 草創期の遺構のようす
- 3 草創期の土器・隆起線文土器
- 4 環境変化と狩猟技術の改革

#### 第3章 大川遺跡にみる縄文人の暮らし

- 1 河畔の住まい
- 2 石蒸し調理の跡
- 3 住居の普及と道具の発達

#### 第4章 定住社会への胎動

- 1 定住生活の実態
- 2 土器文化の形成
- 3 弓矢の威力と森の狩人
- 4 定住狩猟民文化の確立へ

#### 第5章 遺跡の顕彰と保存整備

古代の都が栄えた奈良盆地の東に広がる大和高原は、縄文時代草創期・早期にさかのぼる遺跡が分布する、縄文時代の黎明期に縄文人が活躍した舞台だ。そこに残された住居跡や土器、石器などから、定住狩猟民としての道を歩みはじめた縄文人の姿を明らかにする。